



北総四都市文化紀行

クラシックで書 in 成田

江戸芸能館 in 佐倉

和妻 wazuma わづま in 成田

日本には古くから伝わっている伝承や漫画・アニメ、さらには地域に根ざした民族芸能まで様々な「文化」があります。こうした「文化」をオリンピックの開催に合わせて国内外に発信し、機運を盛り上げ、みんなで参加していこうというのが「文化プログラム」と呼ばれるものです。



千葉県文化振興財団でも、舞台の鑑賞公演や県民が参加する取り組みなどを「文化プログラム」として開催しており、今回紹介する「北総四都市文化紀行」は、日本遺産に認定をされた「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」になぞらえ、3ヶ年かけて四都市と千葉県東総文化会館を会場に特色のある公演を実施しています。

1年目は成田市で2公演、佐倉市で1公演を行い、各会場とも多くの来場者をお迎えすることができました。

成田山書道美術館では、書画を背景に外国人と地元出身のアーティストの弦楽コンサートを開催し、視覚で楽しむ書と聴覚で楽しむ音楽の融合で新しい世界観を創出しました。ちょうど紅葉の季節だったので庭園を訪れていた外国人の観光客にも観覧いただき、東洋西洋一体となった文化の国際交流が図れました。



佐倉市ではショッピングモールを江戸の芝居小屋として再現し、テレビでもお馴染みの林家三平師匠による日本の伝統芸能の落語を、気軽に楽しんでいただくことができました。



成田国際空港では、日本人でも見る機会の少ない伝統芸手品の和妻を披露しました。観客を巻き込んだ演目もあり、日本髪と和装の格好に外国人の方々は興味を示し、公演終了後の記念撮影はとても盛り上がりしました。公演を通じて多くの外国人の方にも観覧いただき「千葉の魅力」を世界に発信し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての機運醸成に繋げることができました。



【公演名】

- 北総四都市文化紀行
～クラシックで書 in 成田～※①
～江戸芸能館 in 佐倉～※②
～和妻 wazuma わづま in 成田～※③

【公演日時・会場】

- ①平成30年11月3日(土・祝)
14:00開演 成田山書道美術館
②平成30年12月22日(土)
13:00/15:00開演
イオンタウンユーカリが丘西街区
1階さくらの広場
③平成31年1月18日(金)
15:00/16:30開演
成田国際空港第2ターミナル
出発ロビースカイリウム

【出演】

- ①エマニュエル・ジラルール(チェロ)・小倉 萌子(ヴィオラ)
②林家 三平・桂 竹千代
③KYOKO

【主催】

公益財団法人千葉県文化振興財団

【協力】

- ①成田山書道美術館
②イオンタウンユーカリが丘
③成田国際空港株式会社

【助成】

文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

【後援】

- ①②③千葉県・日本遺産北総四都市江戸活用協議会・公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
①成田山新勝寺
①③成田市・成田市教育委員会・一般社団法人成田市観光協会
②佐倉市・佐倉市教育委員会・公益社団法人佐倉市観光協会

【入場料】

無料

【入場者数】

- ①250名 ②750名 ③250名

北総四都市文化紀行は beyond2020 プログラム認証事業です。

～日本を旅立つ人を見送り続けたスカイリウムの歴史に幕が降り…～
平成23年11月にオープンした成田国際空港内にあるスカイリウムは、旅客数の増加に伴い閉鎖されることになり、今回の和妻 wazuma わづまがスカイリウムの最後の利用となりました。これまでに財団では、成田国際空港株式会社と連携し、ピアノやヴァイオリン、など12回の演奏会を行い、外国人観光客らに楽しんでいただきました。場所は変わりますが、今後も引き続き空港内で開催し、日本での良い思い出を提供していきます。



平成30年1月26日開催

開催場所の提供をいただいた企業の皆様、県、市町村、教育委員会、観光協会、通訳を担当した大学生ボランティアなど多くの関係機関の皆様の御協力で開催することができ、誠にありがとうございました。

今後も千葉県文化振興財団では、県内の様々な方々と連携し新しい企画作り上げていきたいと考えております。